

諮問第457号  
環自野発第1701251号  
平成29年1月25日

中央環境審議会  
会長 浅野 直人 殿

環 境 大 臣  
山 本 公 一

対象狩猟鳥獣の捕獲等の禁止又は制限を定めることについて（諮問）

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第12条第6項において準用する法第2条第10項の規定に基づき、別表第1に掲げる捕獲等の禁止又は制限の対象とされている鳥獣について、貴審議会の意見を求めます。

なお、同法第2条第7項の規定に基づき、別表第2に掲げる現行の狩猟鳥獣についても併せて検討願います。

## 1. 対象狩猟鳥獣の捕獲等の禁止（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第 10 条第 1 項関係）

環境大臣が禁止する捕獲等は、次の表の左欄に掲げる対象狩猟鳥獣ごとに、それぞれ同表の中欄に掲げる区域内及び同表の右欄に掲げる期間内において行う捕獲等とする。

対象狩猟鳥獣	捕獲等を禁止する区域	捕獲等を禁止する期間
ヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ）（亜種コシジロヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ・イジマエ）を除く。以下この条において同じ。）の雌及びキジ（ファシアヌス・コロキクス）の雌（亜種コウライキジ（ファシアヌス・コロキクス・カルポウイ）を除く。）	全国の区域（ヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ）の雌にあっては放鳥獣をされたヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ）の雌の捕獲を目的に含む放鳥獣猟区の区域を除き、キジ（ファシアヌス・コロキクス）の雌にあっては放鳥獣をされたキジ（ファシアヌス・コロキクス）の雌の捕獲を目的に含む放鳥獣猟区の区域を除く。）	平成二十九年 九月十五日から平成三十四年九月十四日まで
ヒヨドリ（ヒプスイペテス・アマウロティス）	東京都小笠原村、鹿児島県奄美市及び大島郡並びに沖縄県の区域	平成二十九年 九月十五日から平成三十四年九月十四日まで
ツキノワグマ（ウルスス・テイベタヌス）	三重県、奈良県、和歌山県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県及び高知県の区域	平成二十九年 九月十五日から平成三十四年九月十四日まで
シマリス（タミアス・スィビリクス）	北海道の区域	平成二十九年 九月十五日から平成三十四年九月十四日まで
<u>チョウセンイタチ（ムステラ・スィビリカ）</u>	<u>長崎県対馬市の区域</u>	平成二十九年 九月十五日から平成三十四年九月十四日まで

2. 対象狩猟鳥獣の捕獲等の制限（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第10条第2項関係）

環境大臣が制限する捕獲等の数の一日当たりの上限は、猟区の区域外において、次の表の左欄に掲げる対象狩猟鳥獣ごとに、それぞれ同表の右欄に定める羽数又は頭数とする。

対象狩猟鳥獣	羽数又は頭数
エゾライチョウ（テトラステス・ボナシア）	二羽
ヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリングィ）及びキジ（ファシアヌス・コロキクス）	合計して二羽
コジュケイ（バンブスイコラ・トラキクス）	五羽
ヨシガモ（アナス・ファルカタ）、ヒドリガモ（アナス・ペネロペ）、マガモ（アナス・プラテュリユンコス）、カルガモ（アナス・ゾノリユンカ）、ハシビロガモ（アナス・クリュペアタ）、オナガガモ（アナス・アクタ）、コガモ（アナス・クレカ）、ホシハジロ（アイテュア・フェリナ）、キンクロハジロ（アイテュア・フリグラ）、スズガモ（アイテュア・マリラ）及びクロガモ（メラニタ・アメリカナ）	合計して五羽（ただし、網を使用する場合には、法第十一条第二項に基づき環境大臣の定める狩猟鳥獣の捕獲等をする期間ごとに合計して二百羽）
キジバト（ストレプトペリア・オリエンタリス）	十羽
バン（ガルリヌラ・クロロプス）	三羽
ヤマシギ（スコロパクス・ルスティコラ）及びタシギ（ガルリナゴ・ガルリナゴ）	合計して五羽

3. 対象狩猟鳥獣の保護に支障を及ぼす猟法の禁止（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第10条第3項関係）  
環境大臣が禁止する猟法は、次に掲げる猟法とする。

- 一 ユキウサギ（レプス・ティミドゥス）及びノウサギ（レプス・ブラキュウルス）以外の対象狩猟鳥獣の捕獲等をするため、はり網を使用する方法（人が操作することによってはり網を動かして捕獲等をする方法を除く。）
- 二 口径の長さが十番の銃器又はこれより口径の長い銃器を使用する方法
- 三 飛行中の飛行機若しくは運行中の自動車又は五ノット以上の速力で航行中のモーターボートの上から銃器を使用する方法
- 四 構造の一部として三発以上の実包を充てんすることができる弾倉のある散弾銃を使用する方法
- 五 装薬銃であるライフル銃（ヒグマ（ウルスス・アルクトス）、ツキノワグマ（ウルスス・ティベタヌス）、イノシシ（スス・スクロファ）及びニホンジカ（ケルヴス・ニボン）にあっては、口径の長さが五・九ミリメートル以下のライフル銃に限る。）を使用する方法
- 六 空気散弾銃を使用する方法
- 七 同時に三十一以上のわなを使用する方法
- 八 鳥類並びにヒグマ（ウルスス・アルクトス）及びツキノワグマ（ウルスス・ティベタヌス）の捕獲等をするため、わなを使用する方法
- 九 イノシシ（スス・スクロファ）及びニホンジカ（ケルヴス・ニボン）の捕獲等をするため、くくりわな（輪の直径が十二センチメートルを超えるもの、締付け防止金具が装着されていないもの、よりもどしが装着されていないもの又はワイヤーの直径が四ミリメートル未満であるものに限る。）、おし又はとらばさみを使用する方法
- 十 ヒグマ（ウルスス・アルクトス）、ツキノワグマ（ウルスス・ティベタヌス）、イノシシ（スス・スクロファ）及びニホンジカ（ケルヴス・ニボン）以外の獣類の捕獲等をするため、くくりわな（輪の直径が十二センチメートルを超えるもの又は締付け防止金具が装着されていないものに限る。）、おし又はとらばさみを使用する方法
- 十一 つりばり又はとりもちを使用する方法
- 十二 矢を使用する方法
- 十三 犬に咬みつかせることのみにより捕獲等をする方法又は犬に咬みつかせて狩猟鳥獣の動きを止め若しくは鈍らせ、法定猟法以外の方法により捕獲等をする方法
- 十四 キジ笛を使用する方法
- 十五 ヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ）及びキジ（ファシミアヌス・コロキクス）の捕獲等をするため、テーブルコーダー等電気音響機器を使用する方法

## 狩猟鳥獣（鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第2条関係）

科名	種名
動物界 一 鳥綱 (一) きじ目	
きじ科	エゾライチョウ（テトラステス・ボナスィア） ヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ）（亜種コシジロヤマドリ（スィルマティクス・ソエンメルリンギィ・イジマエ）を除く。） キジ（ファスィアヌス・コロキクス） コジュケイ（バンブスィコラ・トラキカ）
(二) かも目	
かも科	ヨシガモ（アナス・ファルカタ） ヒドリガモ（アナス・ペネロペ） マガモ（アナス・プラテュリユンコス） カルガモ（アナス・ゾノリユンカ） ハシビロガモ（アナス・クリュペアタ） オナガガモ（アナス・アクタ） コガモ（アナス・クレカ） ホシハジロ（アイテュア・フェリナ） キンクロハジロ（アイテュア・フリグラ） スズガモ（アイテュア・マリラ） クロガモ（メラニタ・アメリカナ）
(三) はと目	
はと科	キジバト（ストレプトペリア・オリエンタリス）
(四) かつおどり目	
う科	カワウ（ファラクロコラクス・カルボ）
(五) ペリかん目	
さぎ科	ゴイサギ（ニユクティコラクス・ニユクティコラクス）
(六) つる目	
くいな科	バン（ガルリヌラ・クロロプス）
(七) ちどり目	
しぎ科	ヤマシギ（スコロパクス・ルスティコラ） タシギ（ガルリナゴ・ガルリナゴ）
(八) すずめ目	

からす科	ミヤマガラス（コルヴス・フルギレグス） ハシボソガラス（コルヴス・コロネ） ハシブトガラス（コルヴス・マクロリュンコス）
ひよどり科	ヒヨドリ（ヒプスイペテス・アマウロティス）
むくどり科	ムクドリ（スポディオプサル・キネラケウス）
すずめ科	ニュウナイスズメ（パセル・ルティランス） スズメ（パセル・モンタヌス）
二 哺乳綱 （一） ねこ目	
いぬ科	タヌキ（ニクテレウテス・プロキオニデス） キツネ（ウルペス・ウルペス） ノイヌ（カニス・ファミリアリス）
ねこ科	ノネコ（フェリス・カトウス）
いたち科	テン（マルテス・メランプス）（亜種ツシマテン（マルテス・メランプス・ツエンシス）を除く。） イタチ（ムステラ・イタツィ）（オスに限る。） チョウセンイタチ（ムステラ・スイビリカ） ミンク（ムステラ・ヴィソン） アナグマ（メレス・メレス）
あらいぐま科	アライグマ（プロキオン・ロトル）
くま科	ヒグマ（ウルスス・アルクトス） ツキノワグマ（ウルスス・ティベタヌス）
じゃこうねこ科	ハクビシン（パグマ・ラルヴァタ）
（二） うし目	
いのしし科	イノシシ（スス・スクロファ）
しか科	ニホンジカ（ケルヴス・ニボン）
（三） ねずみ目	
りす科	タイワンリス（カルロスキウルス・エリュトウラエウス） シマリス（タミアス・スイビリクス）
ヌートリア科	ヌートリア（ミオカストル・コイプス）
（四） うさぎ目	
うさぎ科	ユキウサギ（レプス・ティミドゥス） ノウサギ（レプス・ブラキュウルス）